

■株主優待のご案内



当社オリジナルアニメキャラクターQUO カード

3月末日現在の株主様

- 1,000株 以上保有の株主様 ▶ 1,000円分を進呈
- 5,000株 以上保有の株主様 ▶ 2,000円分を進呈
- 10,000株 以上保有の株主様 ▶ 3,000円分を進呈

9月末日現在の株主様

- 1,000株 以上保有の株主様 ▶ 500円分を進呈
- 5,000株 以上保有の株主様 ▶ 1,000円分を進呈
- 10,000株 以上保有の株主様 ▶ 1,500円分を進呈

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 3585

いいかぶ 検索 Yahoo!、MSN、exciteのサイト内にある検索窓に、いいかぶと4文字入れて検索してください。

空メールによりURL自動返信
kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。
ご回答いただいた方の中から
抽選で薄謝(図書カード500円)
を進呈させていただきます

e-株主 リサーチ
※本アンケートは、株式会社エーツメディアの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社エーツメディアについての詳細
http://www.a2media.co.jp)※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30)
「e-株主リサーチ事務局」 MAIL:info@e-kabunushi.com



第63期
株主通信

平成20年4月 1 日から
平成21年3月31日まで

tms 株式会社 トムス・エンタテインメント

tms 株式会社 トムス・エンタテインメント (証券コード：3585)

ホームページアドレス：http://www.tms-e.co.jp/

〒160-0023 東京都新宿区西新宿三丁目2番4号

TEL：03-5325-9111 (代表)



私たちは、世界中のあらゆる人々に
夢と感動溢れるエンタテインメントを提供し、
豊かな社会の実現と文化の創造に貢献します。

ご挨拶

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より当社グループ事業へのご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

ここに当社グループの第63期（平成20年4月1日から平成21年3月31日まで）における営業のご報告をお届けするとともに、今後の事業計画についてご説明させていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長 岡村 秀樹
平成21年6月

CONTENTS

ご挨拶	1
トップインタビュー	2
アニメーション事業	5
トピックス	7
アミューズメント事業	8
特集	9
連結業績ハイライト	10
財務諸表	11
会社概要	13
株式情報／株主メモ	14

● トップインタビュー

Top Interview

環境の変化をチャンスとしてとらえ 新たなる収益構造の創造にチャレンジ

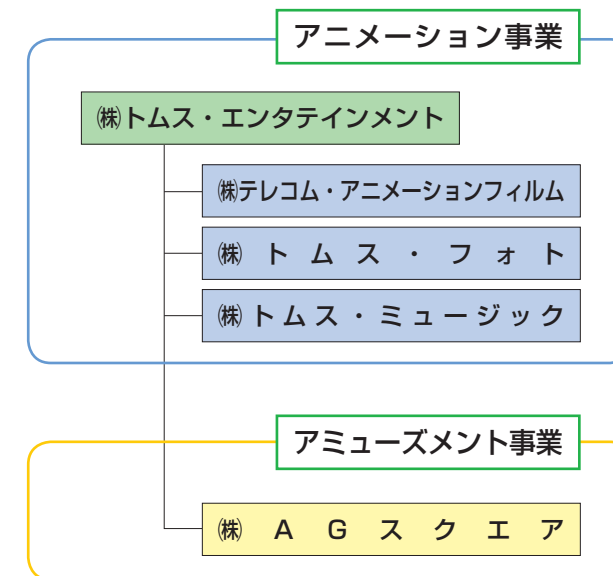
Q1 貴社が展開する事業について 特徴などをお聞かせください。

当社グループは、アニメーション事業とアミューズメント事業の2つを基軸として、エンタテインメントビジネスを展開しています。従来、アミューズメント事業は当社の事業部門として運営しておりましたが、昨年10月、意思決定の迅速化と経営効率の向上を目的として分社化し、株式会社AGスクエアとして新たなスタートを切りました。今後、当社は、アニメーション事業を軸として展開し、またグループとしてアミューズメント事業も継続して展開してまいります。

アニメーション事業では、テレビ番組、劇場映画、オリジナルビデオなどアニメーション作品の企画・制作を行っています。また、制作したコンテンツ資産を生かし、国内および海外に向けて、番組販売やビデオグラム販売、キャラクターの商品化、コンテンツ配信などを展開し、ライセンスによる販売収入を得ています。当社は、業界でもトップクラスの制作能力を持ち、「ルパン三世」「それいけ！アンパンマン」「名探偵コナン」など、世代を超えて愛され続けているアニメーション作品を世に送り出していることが、特徴であり強みでもあります。

一方、アミューズメント事業では、ファミリー・カップル・女性客など、誰もが安心してご利用いただける健全な店舗づくりを基本コンセプトとして、アミューズメント施

設の開発・運営を行っています。都市型、郊外型の2つの店舗スタイルにて展開しており、第63期末時点で全国25店舗の施設を運営しています。



Q2 アニメーション事業、アミューズメント事業の業界の環境についてお聞かせください。

近年のアニメーション産業の市場は、少子化やアニメーション番組放送枠の減少、ここ数年順調だったDVD販売市場の伸びが一段落したことなどの影響を受け、厳しい状況が続いています。一方、有力DVDタイトルの販売は順調で、インターネット経由でテレビ、パソコン、携帯電話にコンテンツを配信する事業分野は拡大基調にあります。また、ブルーレイディスクの登場により、新作および過去のライブラリ作品の需要が喚起されることに期待が寄せられています。

一方、アミューズメント施設市場では、ここ数年ショッピングセンターなど大規模店舗の出店が続き市場規模の拡大を牽引していましたが、市場の飽和や景気悪化による消費の冷え込みを受け、厳しい状況に置かれています。また、施設運営に係るコストの増加傾向や、家庭用ゲーム機の普及などによる若年層の関心の分散化なども、大きな影響を及ぼしています。

Q3 第63期の取り組みと成果についてお伺いします。

アニメーション事業について、映像制作では、人気作品「それいけ！アンパンマン」「名探偵コナン」「ルパン三世」に加え、新しい作品も積極的に制作しました。第63期末に放送されたテレビスペシャル「ルパン三世vs名探偵コナン」は、当社の有力な2作品をひとつのアニメとして放送した

作品で、高視聴率をあげて高い評価を受けることができました。その他オリジナルビデオの制作や、遊技機向け盤面制作も実施し、収益の拡大に向けて取り組みました。しかし、昨年と比較して劇場映画の本数の増加があったものの、前年あった大作ビデオ作品に相当する制作がなかったことなどにより、制作収入による売上高は47億5百万円となり、前年同期比3.3%の減収となりました。

販売収入について、海外販売においては、「爆丸」が北米を基点としてヒットし、カードゲーム等商品化権収入増大につながりました。またネットワークコンテンツ事業においては、「それいけ！アンパンマン」「ルパン三世」「巨人の星」「アタックNo.1」など有力作品による携帯サイトやブロードバンド配信を積極的に展開し、これによる収入が増加し前期を大幅に上回る伸びを示しました。しかし、ビデオグラム販売が市場の低迷の影響を大きく受けて減少し、販売収入全体の売上高は53億5千1百万円となり、前年同期と同等となりました。

結果として、アニメーション事業全体の売上高は100億5千7百万円となり、前年同期比2.0%の減収となりました。営業利益につきましては、9億4千3百万円と前年同期比15.9%の減益となりました。

一方、アミューズメント事業につきましては、アミューズメント機器への投資や店舗リニューアル、催事の励行などを通じて、集客力そして接客サービスの向上を図ったものの、施設市場全体が落ち込んだ影響を大きく受け、事業全体の売上高は41億1千8百万円となり前年同期比12.6%の減収となりました。営業利益につきましては、2千4百万円と前年同期比94.9%の大幅な減益となりました。

Q4 今後の事業展開についてお聞かせください。

アニメーション事業につき、映像制作では、引き続きクオリティの高いコンテンツを制作し、最先端技術の取り込みにも力を入れてまいります。また今後、作品の視聴ターゲットの拡大も図っていく考えです。販売事業収入におきましては、DVD市場の不振など厳しい環境の変化に対応すべく、収益機会の拡大に取り組んでまいります。具体的には、既存作品の再活性化、商品販売における発売元事業の展開、デザイナーとのコラボレーション企画などによる新規コンテンツの開拓、海外企業との共同製作への取り組みや海外の新規市場開拓、ネット展開の強化、eコマース事業の立ち上げなど、全方位的に事業を展開して新たな収益源の確保を積極的に図ってまいります。

アミューズメント事業につき、施設開発については、新規出店ルールの厳格化によりこれまで以上に採算性を重視し、高い集客力が見込める施設に対してのみ投資を検討いたします。また、投資効果の見込める既存店についてはリニューアルにより集客力の維持管理に努め、収益性向上を目指してまいります。施設運営については、市場環境は変化しても顧客サービスの基本は変わらないという認識のもと、これまでに培ってきたノウハウを生かし、店舗運営力の向上に引き続き努めます。アミューズメント施設業界は大変厳しい経営環境におかれています。施設開発・運営の基本を徹底し、経営の安定化と将来に向けた基盤づくりに取り組んでまいります。

Q5 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

100年に1度と言われる深刻な経済悪化に見舞われ、当社を取り巻く市場環境が厳しさを増したことなどにより、当期においても売上高・利益ともに昨年を下回る結果となり、株主の皆様にはご心配をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。現在、当社は経営環境の変化に対応して収益構造の改革に取り組んでおり、業績の回復と将来に向けた成長を目指して、全社一丸となって努力を続けてまいります。

当社グループはこれからも、株主の皆様への継続的かつ安定的な利益還元を重要な経営方針と考え、安定的な配当だけでなく自己株式の取得も含めて、総合的な利益還元を重視してまいります。当期につきましては、前期と同様1株につき7円50銭の期末配当を実施させていただき、また株主優待としてオリジナルキャラクターQUOカードをお送りいたします。

株主の皆様におかれましては、引き続き当社グループ事業へのご理解をいただくとともに、ご支援を賜りたく、心からお願い申し上げます。



■ アニメーション事業

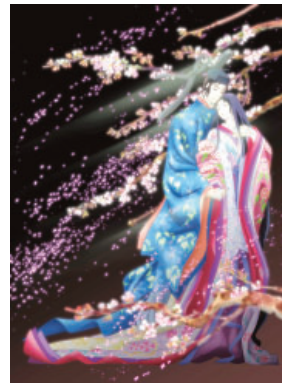
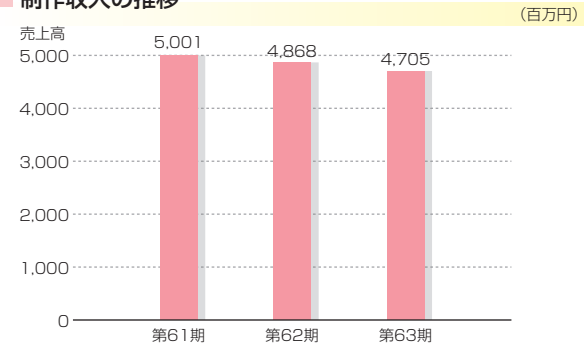
制作収入

当期において、TVシリーズにつきましては、人気番組「それいけ！アンパンマン」「名探偵コナン」のほか、「エグザムライ戦国」「イタズラなKiss」「テレパシー少女 蘭」「ライブオンCARDLIVER翔」「クブ〜！！まめゴマ！」「源氏物語千年紀 Genji」などといった新たなテレビシリーズ作品を制作しました。またTVスペシャルでは原作者と出版社が異なる2作品をひとつのアニメーション作品として放送した「ルパン三世vs名探偵コナン」が高い評価を受けました。

また幼児教育用のオリジナルビデオ「アンパンマンとはじめよう！」の制作、そして遊技機向け素材制作をいたしました。

こうした制作活動の結果、劇場映画の本数の増加があったものの、前年あった大作ビデオ作品に相当する制作がなかったことなどにより、制作収入全体の売上高は47億5百万円となり、前年同期比3.3%の減収となりました。

■ 制作収入の推移



「源氏物語千年紀 Genji」
© Genji 製作委員会



「クブ〜！！まめゴマ！」
© SAN-X/クブ〜！！まめゴマ！製作委員会



「ライブオンCARDLIVER翔」
© ポプラ社/カードライバー翔製作委員会・テレビ東京



「それいけ！アンパンマン 妖精リンリンのひみつ」
© やなせたかし / フレーベル館・TMS・NTV
© やなせたかし / アンパンマン製作委員会2008

販売収入

ビデオグラム販売は、DVD販売市場の低迷など、環境変化の影響を大きく受けましたが、商品化権販売におきましては、アンパンマン関連商品販売による収入が引き続き好調を維持しました。海外事業においては、「爆丸」が北米を基点としてヒットしたことなどから好調に推移し、ネットワークコンテンツ事業につきましても、携帯サイトやブロードバンド配信において「それいけ！アンパンマン」「ルパン三世」「巨人の星」「アタックNo.1」などといった有力作品が大きく貢献し、前期を大幅に上回る伸びを示しました。

これらの営業努力により、海外販売およびネットワークコンテンツ事業収入の増加があったものの、ビデオグラム事業収入の大幅減少により、販売収入全体の売上高は53億5千1百万円となり、前年同期と同等となりました。

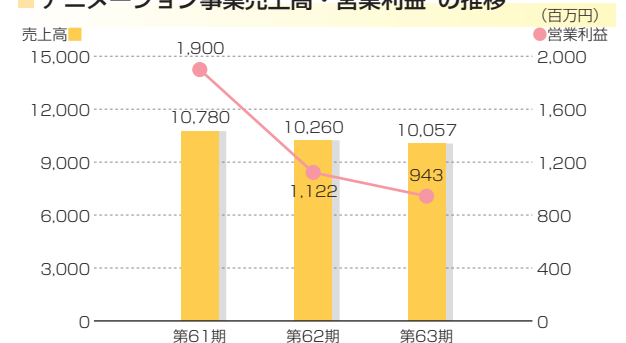
■ 販売収入の推移



— 事業全体の収入 —

アニメーション事業全体の売上高は100億5千7百万円、前年同期比2.0%の減収となりました。また営業利益につきましては、TVおよび素材制作の利益率向上、ネットワーク事業収入の増加、広告宣伝費などの削減にもかかわらず、ビデオグラム販売の大幅減少、作品制作出資の増加による製品償却費負担の増加などにより、9億4千3百万円と前年同期比15.9%の減益となりました。

■ アニメーション事業売上高・営業利益*の推移



※本社会費配賦前の営業利益

「聖闘士星矢 THE LOST CANVAS 冥王神話」リリース開始

当社は、秋田書店との2社による製作委員会方式で、秋田書店「週刊少年チャンピオン」で絶賛連載中の「聖闘士星矢 THE LOST CANVAS 冥王神話」のオリジナルビデオアニメーションシリーズを制作し、6月よりリリース開始します。この作品は、車田正美氏の世界的ベストセラー「聖闘士星矢」の物語世界に連なるもので、多くのファンからの支持を得ています。



「聖闘士星矢 THE LOST CANVAS 冥王神話」
© 車田正美・手代木史織／秋田書店・TMS

名探偵コナン3年連続日本アカデミー賞優秀アニメーション作品賞受賞

毎年恒例となった劇場版名探偵コナンシリーズですが、第10作目である「名探偵コナン 探偵たちの鎮魂歌（レクイエム）」、第11作目「名探偵コナン 紺碧の棺（ジョリー・ロジャー）」に続いて、第12作目の「名探偵コナン 戦慄の楽譜（フルスコア）」が、日本アカデミー賞優秀アニメーション作品賞を受賞し、3年連続受賞という快挙を達成いたしました。

また今年4月18日（土）には、最新作「名探偵コナン 漆黒の追跡者（チェイサー）」が公開されました。



「名探偵コナン 戦慄の楽譜（フルスコア）」
© 2008 青山剛昌／名探偵コナン製作委員会



「名探偵コナン 漆黒の追跡者（チェイサー）」
© 2009 青山剛昌／名探偵コナン製作委員会

「ルパン三世」と「名探偵コナン」が夢の競演

当社の有力作品である「ルパン三世」と「名探偵コナン」が初めてコラボレーションした特別番組「ルパン三世vs名探偵コナン」が、去る3月27日（金）に日本テレビ系金曜特別ロードショーにて放送されました。おかげさまで高視聴率を獲得し、多くの皆様からご好評いただきました。



「ルパン三世vs名探偵コナン」
© ルパン三世vs名探偵コナン製作委員会

「爆丸」が『トイ・オブ・ザ・イヤー』を受賞

2009年2月、当社がアニメーション制作を担当する、アクションカードゲーム「爆丸」（日本語名：ばくがん、英語名：BAKUGAN）が、アメリカの2009年『Toy of the Year／トイ・オブ・ザ・イヤー』の「大賞」を受賞しました。『トイ・オブ・ザ・イヤー』は、米国玩具工業組合が毎年選出する、アメリカ玩具業界において最も栄誉ある賞です。アメリカでは最大手のアニメチャンネルカートゥーンネットワークで大ヒットし、テレビシリーズ第二弾の放送も開始され、今後「爆丸」のさらなる拡大が期待されています。

「爆丸 バトルブローラーズ」
©SEGA TOYS/SPIN MASTER/
BAKUGAN PROJECT・テレビ東京・電通



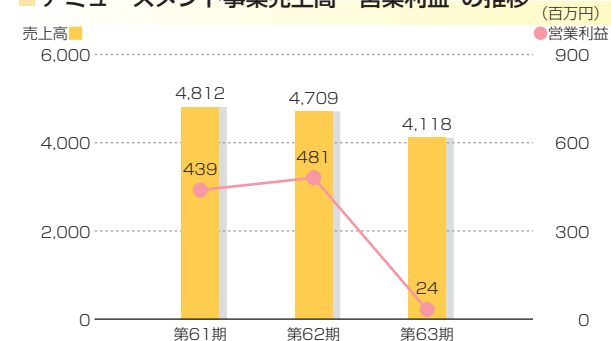
■アミューズメント事業

アミューズメント事業におきましては、厳しい市場環境の下、新規出店を絞り込み、収益に結びつくアミューズメント機器への投資を行い、従業員の士気向上を図り、催事の励行などの集客力そして接客サービスの向上に努めました。また投資効果の見込める既存店舗に対し積極的にリニューアルを実施いたしました。

当連結会計年度においては、1店舗（AG BOWL）の新規開設を実施し、これにより平成21年3月期末現在のアミューズメント施設店舗数は25店舗となっております。

個々の店舗の収益性を重視し店舗運営力の強化の努力を行ったものの、施設市場全体が落ち込んだ影響を大きく受け、アミューズメント事業全体の売上高は、41億1千8百万円と前年同期比12.6%の減収となりました。営業利益につきましては、2千4百万円と前年同期に比べ大幅に減少しました。

■アミューズメント事業売上高・営業利益*の推移

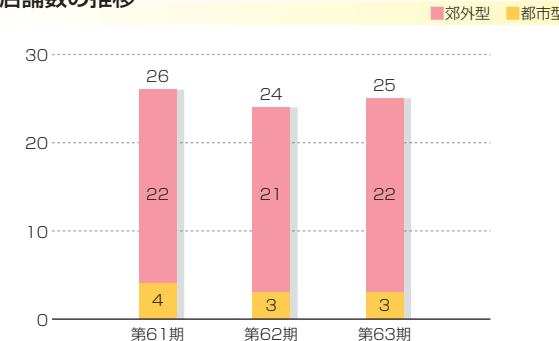


※本社費配賦前の営業利益

厳しい情勢が続いておりますが、競争力の強い店舗への投資を継続しつつ、これまでに培ってきたノウハウを生かして店舗運営力の向上に引き続き努めていくことで、事業全体の収益性の改善に取り組んでまいります。



■店舗数の推移



■ 中期展望

ワールドワイドに展開する
「多機能映像エンタテインメントカンパニー」を目指して

事業環境認識

<アニメーション>

- 少子化が進行、テレビ放送枠が減少
- 深夜番組DVD回収モデルは成り立ちにくく、海外のDVD販売市場は大幅下落
- 勝ち組作品は、DVD、商品ともに販売好調
- 地上波テレビから、U局・専門チャンネル、OVA、ネットと露出先は拡大
- コンテンツ配信事業は急伸長

<アミューズメント>

- 施設市場の拡大はピークを過ぎ、全体の店舗数の下降傾向が続く
- 業界再編が進む中、店舗の淘汰が進み、強い店舗は生き残る



これまで培ってきた強固な事業基盤をもとに環境の変化をチャンスとしてとらえ、
新たな収益構造の創造にチャレンジ

中期で目指す方向性

<アニメーション>

- コンテンツを基点（コア）とした収益機会の拡大・多角化
- 当社ブランドを高める意欲的な作品制作
- 多くのユーザーを取り込む作品ジャンルの拡充
- 制作クオリティの更なる向上及び先進技術の取り込み
- 既存サービスに留まらないネットワーク事業の更なる拡大

<アミューズメント>

- 人材能力をパワーアップし、地域ナンバーワン店舗の開発を進める

今期（第64期）中に着手するテーマ

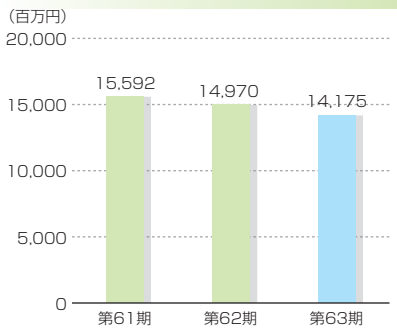
<アニメーション>

- ➡ 企画を厳選しOVA、商品化、海外販売、ネットへと立体的に展開
- ➡ 「爆丸」に続く海外でのヒット作の仕込み
- ➡ 当社有力コンテンツの再活性化、話題性のある大型企画の実現

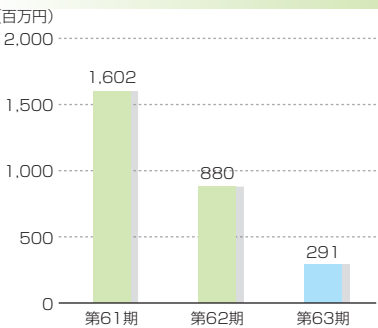
<アミューズメント>

- ➡ 1店舗毎の競争力向上、新規店舗開発の情報網拡大

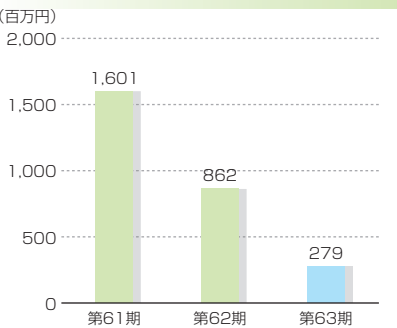
売上高



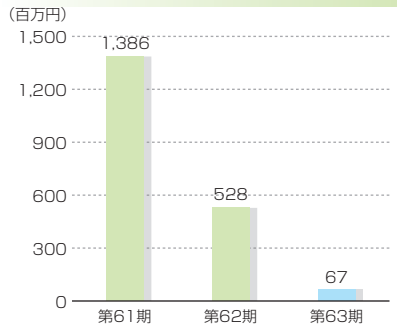
営業利益



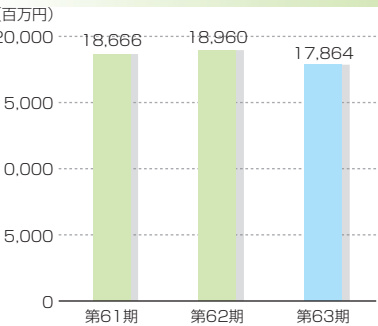
経常利益



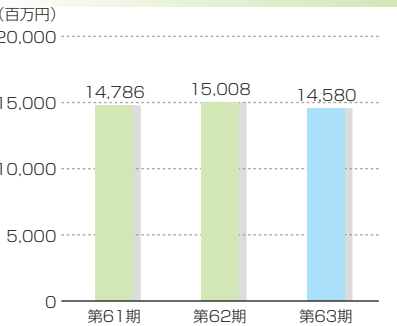
当期純利益



総資産



純資産



(単位：百万円)

経営成績				第61期	第62期	第63期
売	上	高		15,592	14,970	14,175
営	業	利	益	1,602	880	291
経	常	利	益	1,601	862	279
当	期	純	利	益	528	67
総	資	産		18,666	18,960	17,864
純	資	産		14,786	15,008	14,580

連結財務諸表

■ 連結貸借対照表（要旨）
(単位:百万円)

科 目	当連結会計年度 平成21年3月31日現在	前連結会計年度 平成20年3月31日現在
資 産 の 部		
流動資産	9,934	12,585
固定資産	7,930	6,375
有形固定資産	3,685	3,217
建物及び構築物	1,776	1,686
土地	797	797
その他	1,111	734
無形固定資産	215	206
投資その他の資産	4,029	2,950
資産合計	17,864	18,960
負 債 の 部		
流動負債	2,522	3,481
固定負債	761	470
負債合計	3,284	3,952
純 資 産 の 部		
株主資本	14,496	15,056
資本金	8,816	8,816
資本剰余金	1,806	1,806
利益剰余金	5,148	5,398
自己株式	△1,275	△965
評価・換算差額等	9	△109
新株予約権	73	62
純資産合計	14,580	15,008
負債純資産合計	17,864	18,960

注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

■ 連結損益計算書（要旨）
(単位:百万円)

科 目	当連結会計年度 平成20年4月 1 日から 平成21年3月31日まで	前連結会計年度 平成19年4月 1 日から 平成20年3月31日まで
売上高	14,175	14,970
売上原価	12,041	12,005
売上総利益	2,134	2,964
販売費及び一般管理費	1,842	2,084
営業利益	291	880
営業外収益	80	94
営業外費用	92	112
経常利益	279	862
特別利益	253	155
特別損失	358	154
税金等調整前当期純利益	173	862
法人税、住民税及び事業税	41	444
法人税等調整額	64	△110
当期純利益	67	528

注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

■ 連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）
(単位:百万円)

科 目	当連結会計年度 平成20年4月 1 日から 平成21年3月31日まで	前連結会計年度 平成19年4月 1 日から 平成20年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	176	1,068
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,745	△861
財務活動によるキャッシュ・フロー	△795	△377
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△13
現金及び現金同等物の減少額	△2,364	△183
現金及び現金同等物の期首残高	4,921	5,035
新規連結に伴う現金及び現金同等物増加額	－	70
現金及び現金同等物の期末残高	2,557	4,921

注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

■ 連結株主資本等変動計算書 当連結会計年度（平成20年4月1日から平成21年3月31日まで）
(単位:百万円)

	株主資本					評価・換算差額等			新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計		
平成20年3月31日残高	8,816	1,806	5,398	△965	15,056	30	△140	△109	62	15,008
連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当			△316		△316					△316
当期純利益			67		67					67
自己株式処分差損			△0		△0					△0
自己株式の取得				△310	△310					△310
自己株式の処分				0	0					0
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額（純額）						△19	139	119	11	131
連結会計年度中の変動額合計	－	－	△249	△310	△559	△19	139	119	11	△428
平成21年3月31日残高	8,816	1,806	5,148	△1,275	14,496	11	△1	9	73	14,580

注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

個別財務諸表

■ 個別貸借対照表（要旨）
(単位:百万円)

科 目	当事業年度 平成21年3月31日現在	前事業年度 平成20年3月31日現在
資 産 の 部		
流動資産	8,939	11,953
固定資産	8,042	6,594
資産合計	16,981	18,547
負 債 の 部		
流動負債	2,053	3,312
固定負債	304	364
負債合計	2,357	3,677
純 資 産 の 部		
株主資本	14,538	14,777
資本金	8,816	8,816
資本剰余金	1,806	1,806
利益剰余金	5,191	5,119
自己株式	△1,275	△965
評価・換算差額等	11	30
新株予約権	73	62
純資産合計	14,623	14,870
負債純資産合計	16,981	18,547

注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

■ 個別損益計算書（要旨）
(単位:百万円)

科 目	当事業年度 平成20年4月 1 日から 平成21年3月31日まで	前事業年度 平成19年4月 1 日から 平成20年3月31日まで
売上高	11,556	14,589
売上原価	9,633	11,741
売上総利益	1,922	2,847
販売費及び一般管理費	1,699	2,028
営業利益	223	819
営業外収益	151	125
営業外費用	86	105
経常利益	288	839
特別利益	298	155
特別損失	49	154
税引前当期純利益	537	840
法人税、住民税及び事業税	17	436
法人税等調整額	131	△108
当期純利益	388	512

注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

■ 会社概要

商 号	株式会社 トムス・エンタテインメント
設 立	昭和21年10月
資 本 金	88億1,686万円 (名古屋証券取引所市場第二部上場)
従 業 員 数	306名 (連結)
事 業 内 容	アニメーション事業 アニメーション作品の企画・制作・販売・配給および輸出 アミューズメント事業 アミューズメント施設の企画・開発・運営
事 業 所	本社 〒160-0023 東京都新宿区西新宿三丁目2番4号 TEL：03-5325-9111 FAX：03-5325-1511

制作本部 制作スタジオ

〒164-0002
東京都中野区上高田五丁目39番1号
TEL：03-3319-1131
FAX：03-3319-1140

主な子会社	株式会社 AGスクエア 株式会社 テレコム・アニメーションフィルム 株式会社 トムス・フォト 株式会社 トムス・ミュージック TMS ENTERTAINMENT USA, INC. TMS MUSIC (UK) LTD. TMS MUSIC (HK) LTD.
-------	--

■ 取締役および監査役

取締役会長	里見 治
代表取締役社長	岡村 秀樹
専務取締役	松元 理人
常務取締役	山田 克博
取 締 役	吉田 諭司
取 締 役	鶴谷 誠
取 締 役	竹崎 忠
取 締 役	西田 浩
常勤監査役	石井 正
監 査 役	平川 壽男
監 査 役	田中 克郎
監 査 役	上瀧 雄一郎

■ ホームページのご案内



© やなせたかし / フレーベル館・TMS・NTV

ホームページアドレス：<http://www.tms-e.co.jp/>

当社ホームページでは、当社制作のアニメーション作品紹介の他、投資家の皆様への情報を掲載しております。是非ご覧ください。

■ 株式の状況

発行可能株式総数	121,000,000株
発行済株式の総数	44,153,101株
株主数	3,887名

■ 大株主の状況

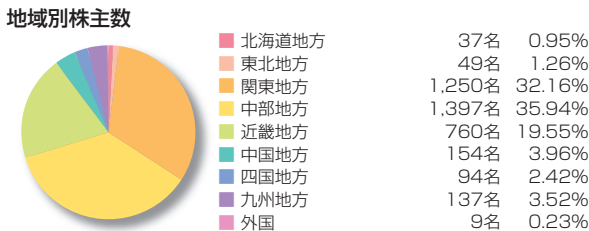
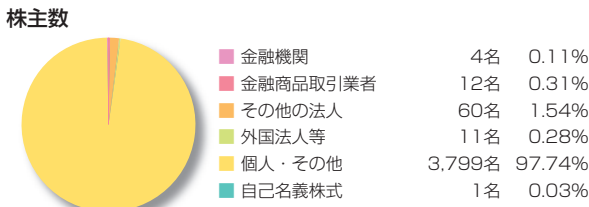
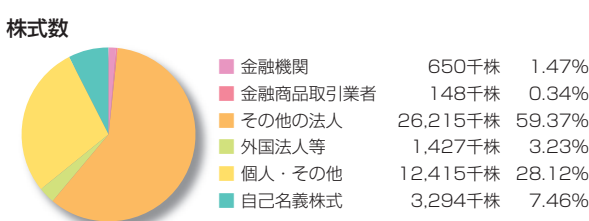
株 主 名	持株数(千株)	出資比率(%)
セガサミーホールディングス(株)	23,549	57.63
日本テレビ放送網(株)	2,000	4.89
ユービーエスエージーロンドンアカウントアイピービーセグリゲイテッドクライアントアカウント	1,337	3.27
(株)三井住友銀行	353	0.86
柴田 渉	216	0.52
代永 衛	209	0.51
中部証券金融(株)	208	0.50
田井 謙吉	182	0.44
三津 久直	175	0.42
(株)ソノコ	150	0.36

※当社は、自己株式3,294,992株を保有しておりますが、上記の大株主からは除いております。また出資比率は、自己株式を控除して計算しております。

■ 株主メモ

事 業 年 度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主確定日	3月31日
定 時 株 主 総 会	毎年6月
株 主 名 簿 管 理 人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特 別 口 座	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel. 0120-232-7111 (通話料無料)
同 連 絡 先	名古屋証券取引所市場第二部 電子公告により行う 公告掲載URL http://www.tms-e.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)
上 場 証 券 取 引 所	
公 告 の 方 法	

■ 株式分布状況



【お知らせ】	
1. 株券電子化によるご注意	(1)株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。 (2)特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。 (3)配当金の口座振込のご指定につきましても、お手続きは配当金振込指定書を各口座管理機関を経由してお届けいただくこととなりました。振込指定のお手続きにつきましては詳しくは各口座管理機関にお問合せください。 (4)未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。
2. 配当金計算書について	配当金の口座振込をご指定の方と同様に、「配当金領収証」により配当金をお受取になられる株主様宛にも「配当金計算書」を同封いたしております。配当金をお受取になった後の配当金額のご確認や確定申告の資料としてご利用いただけます。